

イボは HPV(ヒトパピローマウイルス)の感染によって皮膚にできます。通常痛みはありませんが、見た目が悪かったり、特に足にできるイボでは、時には痛みやかゆみを伴うこともあります。タコやウオノメと間違えやすく、削ってみたら出血してしまった…という事もよくあります。



イボができる原因

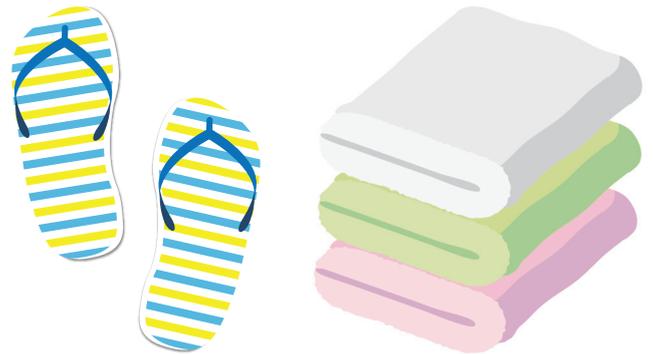
足底にできるイボはHPV(ヒトパピローマウイルス)に、皮膚が直接接触することが原因です。身体他の部分にできるイボもこのウイルスが原因です。足底のHPV感染は、更衣室、プールなど裸足で歩く場所で感染することが多く、また、家族に感染者がいれば家で感染することもあります。

自宅でのケア

基本的にイボは自然に治癒しますが、早く治したい場合はイボを完全に切除する手術もあります。また、市販のイボ取り薬も色々ありますが、これらは時に危険なこともありますので、自分でイボを取るのはやめましょう。

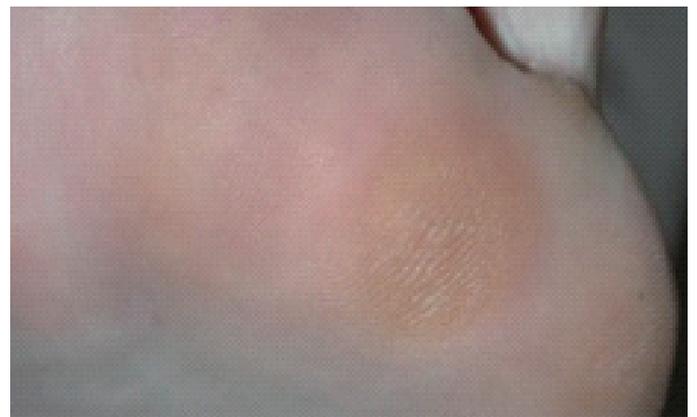
予防方法

更衣室やプールなど公共の場を裸足で歩くことは避けましょう。また、家族にイボの感染者がいる場合は、タオルやバスマットなどは一緒に使わないようにしましょう。



治療方法

液体窒素で患部を焼きます。また、患部を切除して薬剤を塗布することもあります。



完治後の写真